



みかんぐみだより

2020年11月2日
尚徳福社会おぐら保育園
みかん組担任

日中のほかほかとしたお日さまがより温かく感じられる程、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。肌寒い日も増えてきた中でも子どもたちは園庭に出て三輪車やフラフープ、かけっこをしたり、室内では体操をしたりと、元気いっぱい身体を動かして過ごしています。

園での生活も保育者や友だちと遊びを共有する姿や、「はな(鼻水)でちゃったからティッシュ(ちょうだい)」と言葉で表現する姿も多くなってきました。思い通りになって嬉しそうな姿や、思った通りにならずに悔しい思いをする時もありますが、保育者が言葉を足して話したり「じゃあこうしてみようか」と違うやり方を教えてあげたりして様々な体験を通して子どもたちの成長に繋げていけたらいいな、と思っています。

園での生活も後半になり、自分で服を脱いだり靴下を履いたりする姿も多くなってきました。子どもたちのやりたい気持ちを大切にしながら、「自分で出来た!」と思える位、保育者の手伝いが少なくなった子も多くなってきました。ご家庭でもお時間のある時は子どものやりたい気持ちに寄り添ってじっくり見守って頂けると幸いです。

このこはだ〜れだ?

言葉が増えて会話が多くなる中で、子ども同士で名前を呼び合うことも多くなりました。「名前で呼ぶと反応してくれる」という体験がまた次のやり取りにも繋がってくると思います。登園時も「あ!〇〇ちゃんきたね!」「〇〇先生だ!」と友だちや担任が来ると教えてくれるようになりました。中には「先生、〇〇ちゃんがあそこのぼってる!」と報告?してくれる時もあります。一緒に過ごしていく中で友だちへの興味関心などからより様々なことへ意欲が繋がっていけるように、保育者も遊びや歌など言葉を増やしていき、子どもたちとのやりとりを楽しんでいます。

いっしょにやろう!

今までは保育者とだけ遊んでいた子ども段々と遊びを共有したり、同じ玩具を使って遊んだりする姿が多くなってきました。二人でピタゴラスを持ち寄って大きな建物を作る時もあれば、友だちが作るものを見て同じような作品を作って「これはわたしのね」と話していることもあります。誰かと一緒に遊ぶとこんなこともできるんだね!という発見や喜びを保育者も一緒になって楽しみながら、遊びがより広がっていくように声をかけたり見守ったりして友だちとのやりとりを深めていけるように関わっています。



〜おねがい〜

- ・寒くなるに従い、感染症も今まで以上に注意をしていきたいと考えています。保育園で使用するコップ等も毎日洗浄して頂きご準備して頂けるようお願いいたします。
- ・外遊び用の上着や衣替えした衣服等のお名前が薄くなっているものがありましたご確認の上、再度記名して頂けるようお願いいたします。
- ・服や靴のサイズも定期的に確認して、子どもたちが自分で着脱しやすいかどうかを見ていただくと子どもたちのやる気もまた一段と増すと思います(ハイカットよりスニーカーにする等)。

